

子ども女性比と都道府県分析

令和5年11月21日(火)

国立社会保障・人口問題研究所
人口構造研究部 室長

藤井 多希子

自己紹介

・1970年 神奈川県横浜市生まれ→埼玉県所沢市で育つ(新宿区在住)

・2023年4月～ **国立社会保障・人口問題研究所**

人口構造研究部(鎌田先生の後任として)

2018～2023年3月 **中野区** 地域支えあい推進部 地域包括ケア推進担当部長

2014～2018年 個人で一般社団法人**政策人口研究所**を立ち上げ、自治体支援

2010～2018年11月 **中野区医師会** 事務局長

2000～2010年 慶應義塾大学、嘉悦大学、東京都立大学等で非常勤

1994～1997年 民間ディベロッパー勤務(営業企画)

専門分野

- ・地域人口分析、小地域将来人口推計
- ・地域包括ケア、医療介護連携、認知症施策
- ・高齢者居住

趣味

- ・音楽鑑賞、楽器演奏(ピアノ・リコーダー)、楽譜づくり&Youtube配信



本日の発表内容

1. 変わる結婚観

～第16回出生動向基本調査より～

2. 子ども女性比とは

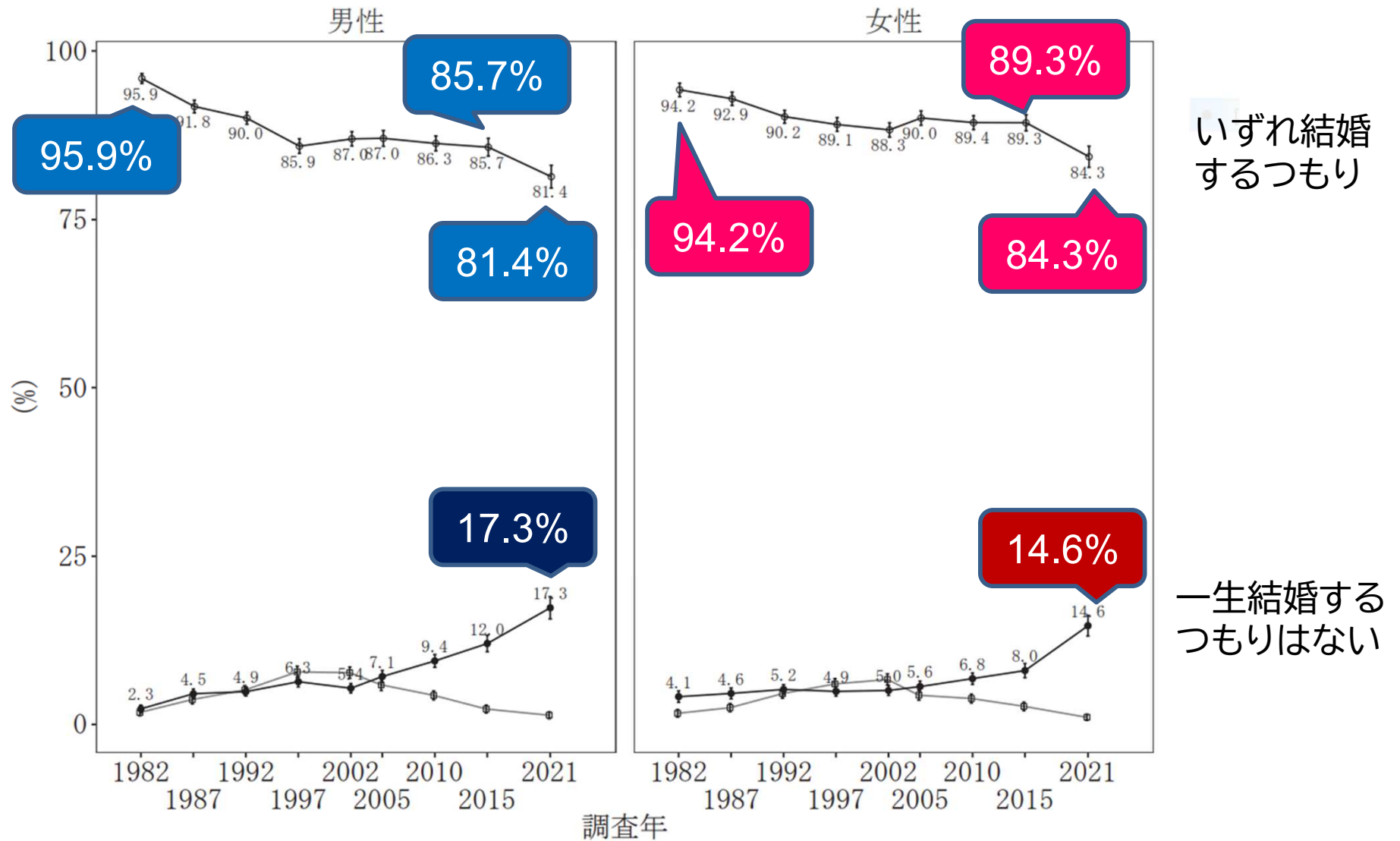
3. 主成分分析による都道府県の特徴

1. 変わる結婚観

～第16回出生動向基本調査より～

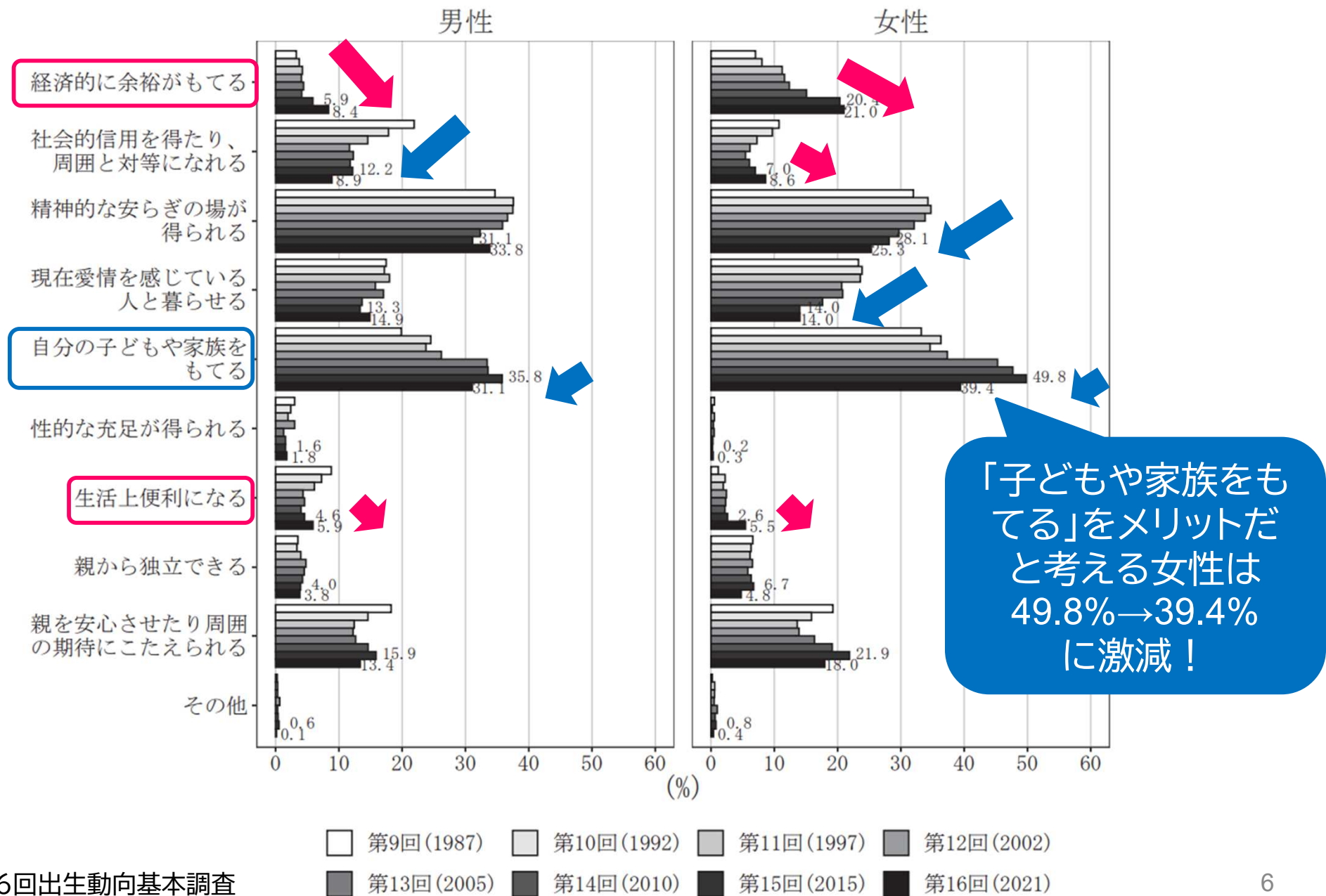
変わる結婚行動：結婚意思の低下

図表 1-1-1 調査別にみた、未婚者の生涯の結婚意思



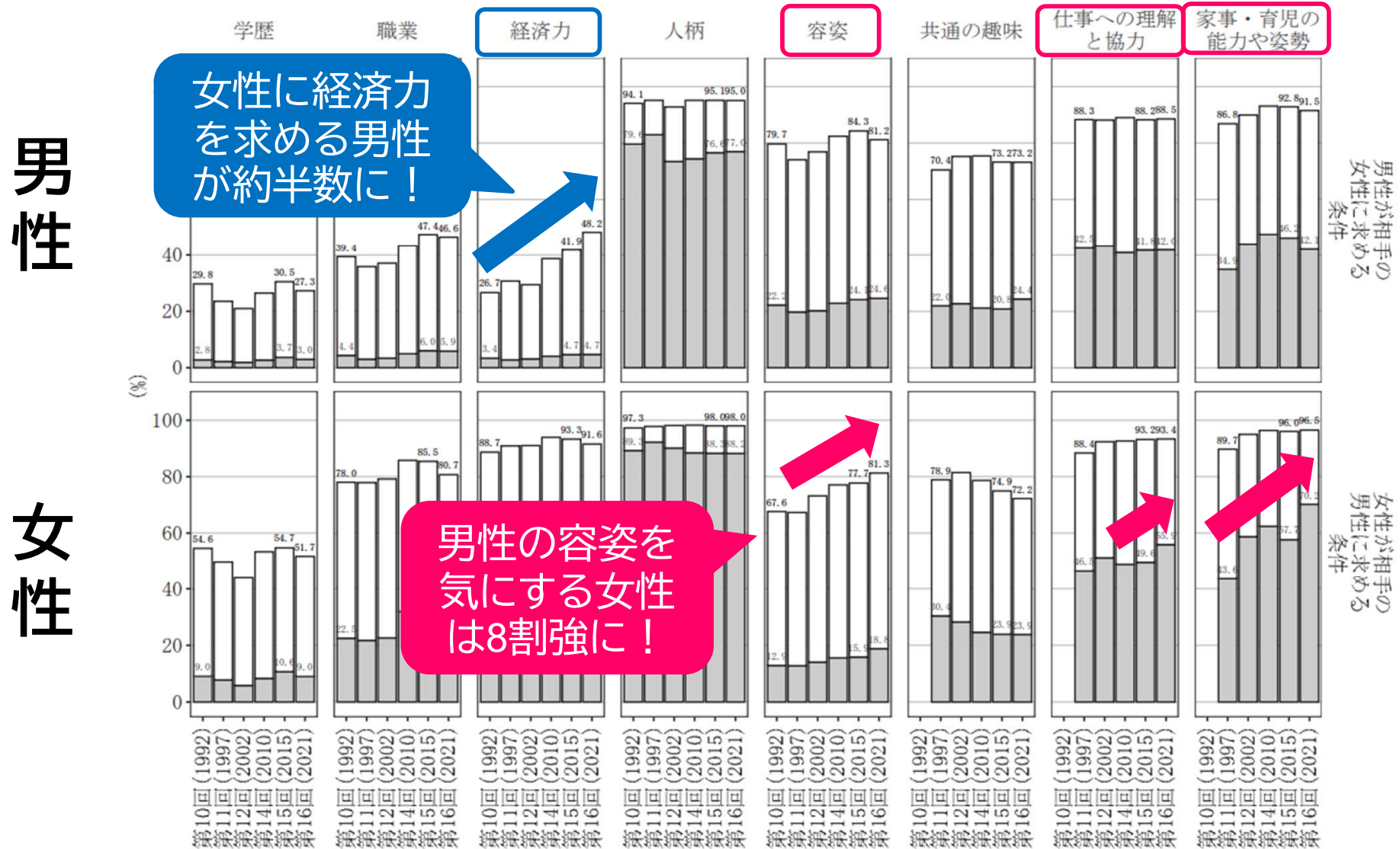
未婚者が考える結婚のメリット

図表 1-2-1 調査別にみた、各「結婚の利点」を選択した未婚者の割合



未婚者が考える結婚のメリット

図表 3-2-1 調査別にみた、結婚相手の条件として重視・考慮する割合



出典:第16回出生動向基本調査

■ 重視する □ 考慮する

変わる結婚の形

- 結婚に求めるものが男女ともに変化
→「性別役割分業型家族」から「協働型家族」へ
- 「結婚」「出産」「恋愛」の三位一体体制が崩壊
→結婚したからといって子どもを持つとは限らない
→それが進むと、結婚しないで子どもを持つ人も増える???

2. 子ども女性比とは

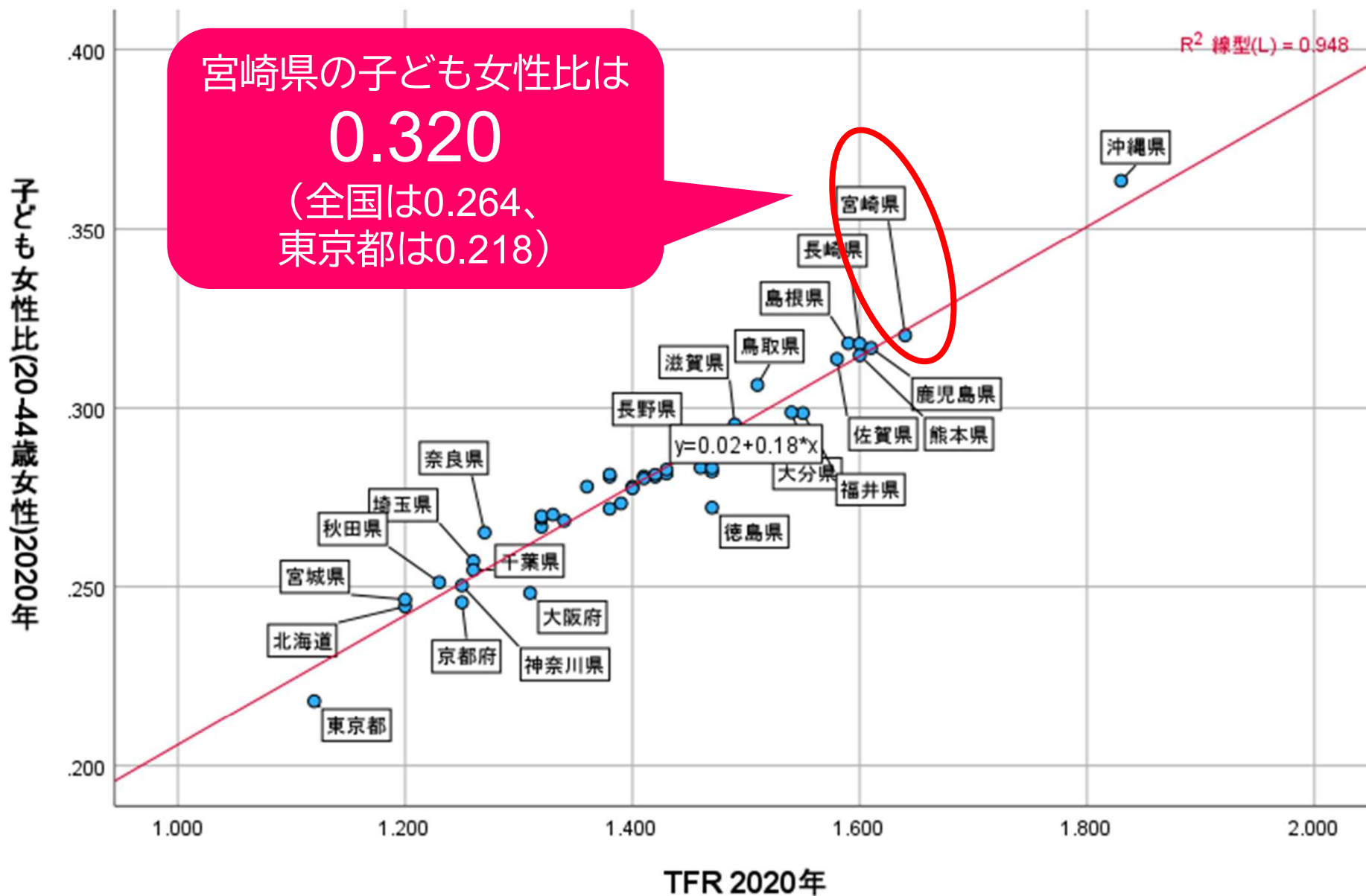
子ども女性比とは

- 「子ども人口(0～4歳、0歳など)」と「女性人口(一般的には15～49歳)」の比率
- 出生率が動的な指標であるのに対し、子ども女性比はある時点における2つの異なる年齢層の人口比という静的な指標である
- 子ども女性比は、出生力のみならず、移動、死亡も含めた総合的な指標である

女性の年齢は何歳に設定すべきか

- 「女性」には、出産していない女性も含まれるため、未婚者の多い地域の子ども女性比は低くなる傾向
- 15～19歳、あるいは45～49歳の年齢層では、年齢別出生率は非常に低いため、子ども女性比の分母に設定する女性人口の年齢は、20～44歳や25～34歳など、出生率の高い年齢層に絞る方法もある

子ども女性比(0~4歳/20~44歳女性人口)と TFR

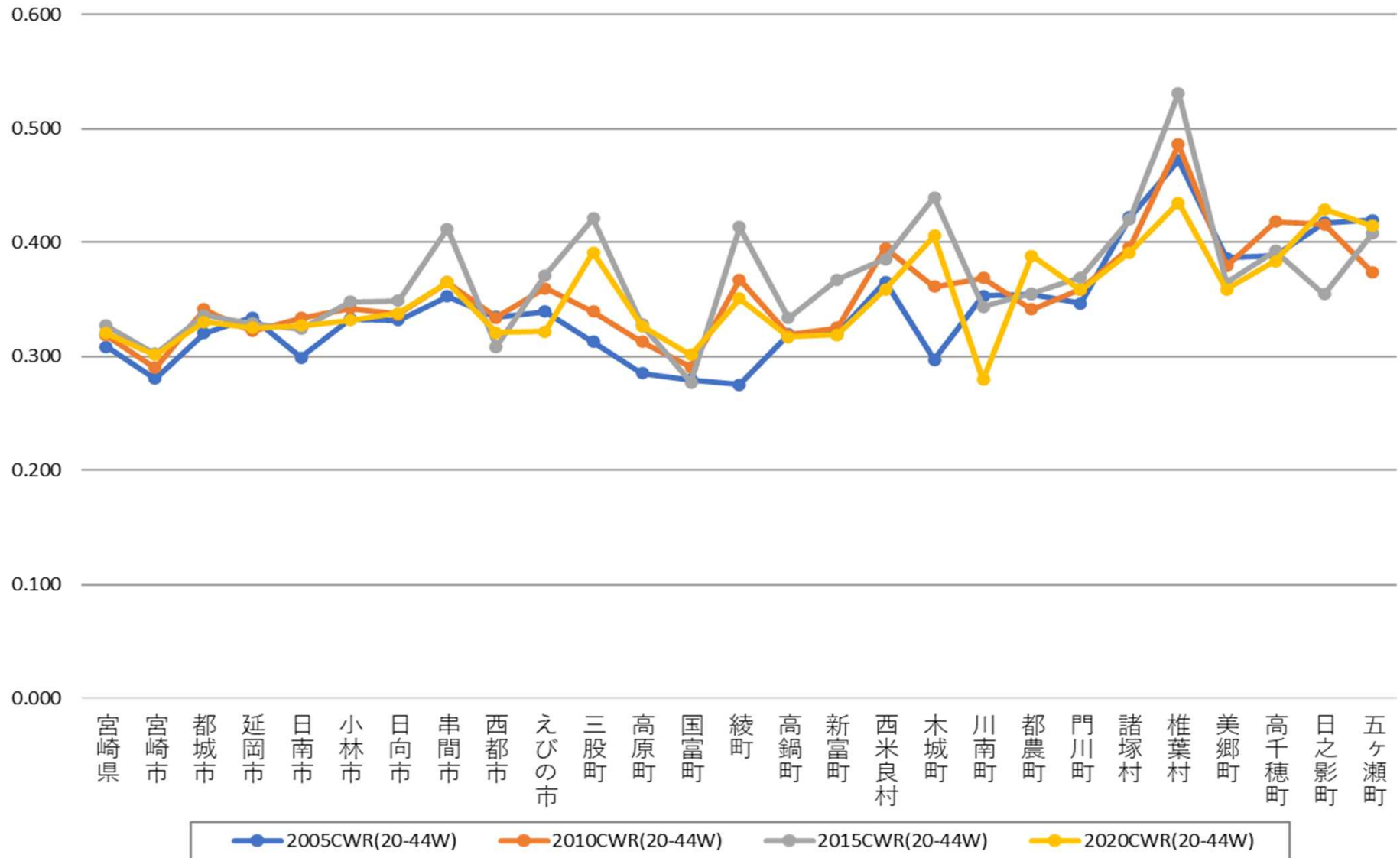


宮崎県内自治体別子ども女性比の推移

市町村名	2005CWR(20-44W)	2010CWR(20-44W)	2015CWR(20-44W)	2020CWR(20-44W)
宮崎県	0.308	0.318	0.327	0.320
宮崎市	0.281	0.290	0.302	0.301
都城市	0.320	0.341	0.336	0.330
延岡市	0.334	0.322	0.329	0.325
日南市	0.299	0.334	0.324	0.327
小林市	0.332	0.342	0.347	0.331
日向市	0.331	0.337	0.349	0.338
串間市	0.353	0.365	0.412	0.365
西都市	0.335	0.334	0.309	0.321
えびの市	0.339	0.360	0.371	0.322
三股町	0.313	0.339	0.421	0.391
高原町	0.285	0.313	0.328	0.327
国富町	0.279	0.290	0.277	0.301
綾町	0.275	0.367	0.413	0.351
高鍋町	0.319	0.319	0.334	0.317
新富町	0.320	0.325	0.367	0.319
西米良村	0.365	0.395	0.385	0.359
木城町	0.297	0.361	0.439	0.406
川南町	0.353	0.369	0.343	0.279
都農町	0.354	0.341	0.355	0.388
門川町	0.346	0.359	0.369	0.358
諸塚村	0.422	0.395	0.420	0.391
椎葉村	0.472	0.486	0.531	0.434
美郷町	0.386	0.379	0.364	0.358
高千穂町	0.388	0.418	0.392	0.383
日之影町	0.417	0.415	0.354	0.429
五ヶ瀬町	0.419	0.373	0.408	0.414

宮崎県内自治体別子ども女性比の推移

2000年～2020年の自治体別子ども女性比（0～4歳／20～44歳女性）



3. 主成分分析による都道府県の特徴

子ども女性比が高い都道府県は どんな特徴があるのか？

- 子ども女性比が、平均初婚年齢、50歳時の未婚率、高卒者の進学率・県外就職率、6歳未満の子がいる妻の正規職員割合、非嫡出子割合などの変数とどのような関係にあるのか？

主成分分析(14変数)

- 子ども女性比(0～4歳／20～44歳女性人口)2020年
- 平均初婚年齢(男性、女性)2020年
- 50歳時未婚割合(男性、女性)2020年
- 夫日本人妻外国人／夫外国人妻日本人の婚姻割合2020年
- 夫の氏にした婚姻割合2021年
- 高卒者の進学率(男性、女性)2021年
- 高卒者の県外就職率の割合2021年
- 6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020年
- 結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019年
- 非嫡出子の割合2019年

子ども女性比との相関係数

平均初婚年齢(男)2020	-.685**
平均初婚年齢(女)2020	-.573**
50歳時未婚割合(男)2020	-.496**
50歳時未婚割合(女)2020	-0.248
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	-.359*
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	-0.018
夫の氏にした婚姻割合2021	0.251
高卒者の進学率(男)2021	-.645**
高卒者の進学率(女)2021	-.540**
高卒者の県外就職率の割合2021	.367*
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	0.107
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	.653**
非嫡出子の割合2019	.366*

** 1%水準で有意(両側)

* 5%水準で有意(両側)

→平均初婚年齢が高く、未婚率が高く、外国人妻の夫婦が多く、進学率が高いエリアでは、子ども女性比が低い

→県外就職率が高く、いわゆる「授かり婚」が多いエリアでは、子ども女性比が高い

(なお、「結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合」と「非嫡出子の割合」の相関係数は0.653**)

子ども女性比に関する主成分分析

共通性

	初期	因子抽出後
2020CWR(20-44W)	1.000	.737
平均初婚年齢(男)2020	1.000	.852
平均初婚年齢(女)2020	1.000	.836
50歳時未婚割合(男)2020	1.000	.867
50歳時未婚割合(女)2020	1.000	.880
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	1.000	.862
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	1.000	.857
夫の氏にした婚姻割合2021	1.000	.842
高卒者の進学率(男)2021	1.000	.880
高卒者の進学率(女)2021	1.000	.806
高卒者の県外就職率の割合2021	1.000	.567
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	1.000	.727
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	1.000	.878
非嫡出子の割合2019	1.000	.819

因子抽出法: 主成分分析

説明された分散の合計

成分	初期の固有値			抽出後の負荷量平方和		
	合計	分散の%	累積%	合計	分散の%	累積%
1	5.497	39.261	39.261	5.497	39.261	39.261
2	2.613	18.664	57.925	2.613	18.664	57.925
3	2.055	14.677	72.601	2.055	14.677	72.601
4	1.246	8.903	81.504	1.246	8.903	81.504
5	.674	4.814	86.318			
6	.596	4.258	90.576			
7	.465	3.320	93.896			
8	.285	2.033	95.929			
9	.185	1.323	97.252			
10	.148	1.054	98.306			
11	.106	.755	99.061			
12	.089	.637	99.698			
13	.027	.190	99.888			
14	.016	.112	100.000			

因子抽出法: 主成分分析



14個の変数が4つに集約された!

主成分分析の結果

	主成分1	主成分2	主成分3	主成分4
子ども女性比(20-44歳女性)2020	-0.786	-0.040	0.191	0.285
平均初婚年齢(男)2020	0.868	0.163	-0.261	-0.065
平均初婚年齢(女)2020	0.723	0.499	-0.070	-0.241
50歳時未婚割合(男)2020	0.464	0.511	-0.592	0.201
50歳時未婚割合(女)2020	0.161	0.876	0.076	-0.284
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	0.729	-0.250	0.118	0.503
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	0.330	0.601	0.104	0.613
夫の氏にした婚姻割合2021	-0.185	0.170	0.820	-0.327
高卒者の進学率(男)2021	0.886	-0.052	0.303	-0.018
高卒者の進学率(女)2021	0.807	0.031	0.356	-0.166
高卒者の県外就職率の割合2021	-0.517	0.499	-0.022	-0.227
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	-0.243	-0.020	-0.763	-0.292
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	-0.836	0.355	-0.119	0.197
非嫡出子の割合2019	-0.473	0.689	0.277	0.207

主成分1:未婚化・晩婚化の軸？

	主成分1
子ども女性比(20-44歳女性)2020	-0.786
平均初婚年齢(男)2020	0.868
平均初婚年齢(女)2020	0.723
50歳時未婚割合(男)2020	0.464
50歳時未婚割合(女)2020	0.161
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	0.729
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	0.330
夫の氏にした婚姻割合2021	-0.185
高卒者の進学率(男)2021	0.886
高卒者の進学率(女)2021	0.807
高卒者の県外就職率の割合2021	-0.517
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	-0.243
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	-0.836
非嫡出子の割合2019	-0.473

■この軸と正の関係にあるのは…

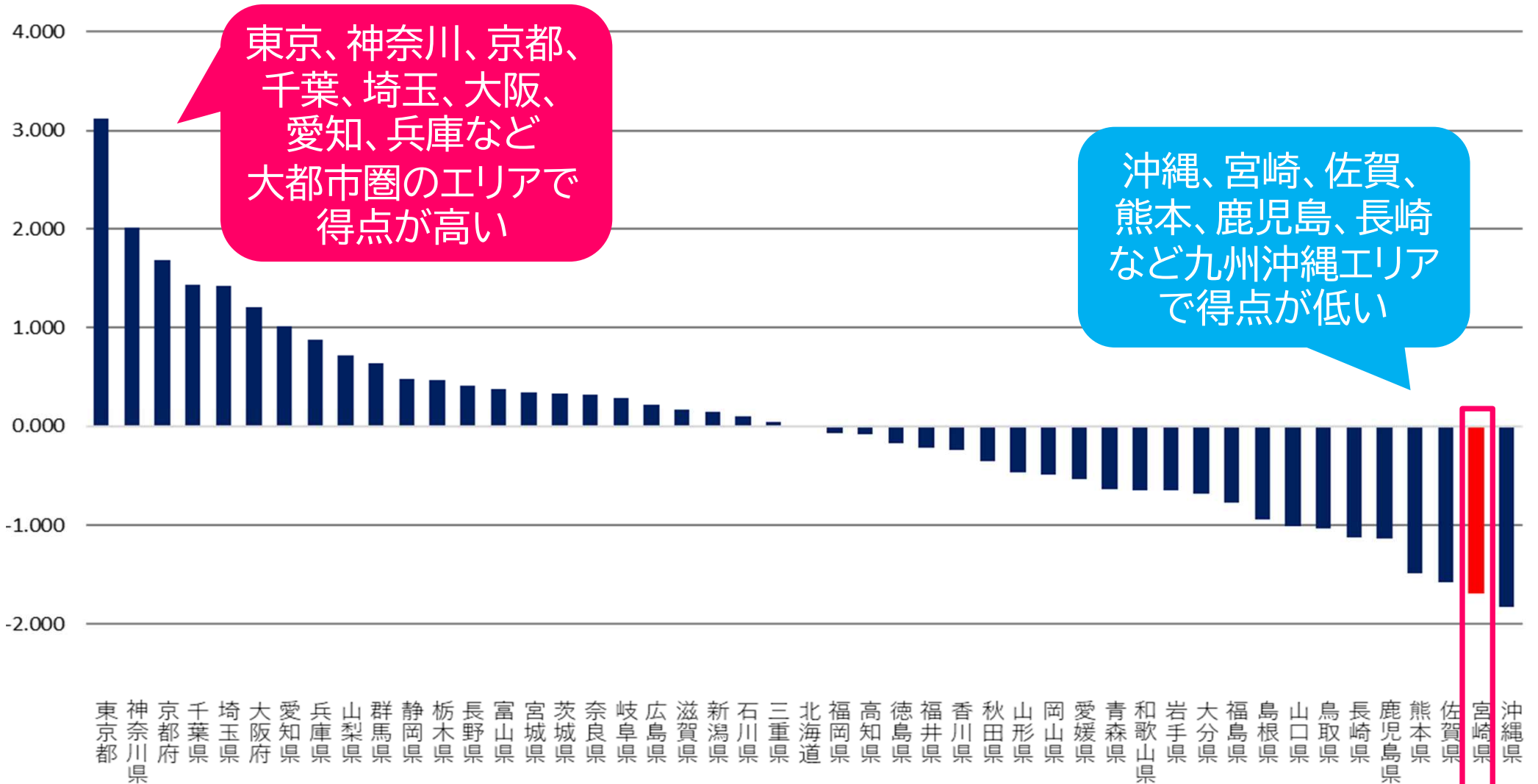
- 初婚年齢が高い(男女ともに)
- 50歳時未婚割合が高い(男性のみ)
- 「夫日本人・妻外国人」の割合が高い
- 高卒者の進学率が高い(男女ともに)

■この軸と負の関係にあるのは…

- 子ども女性比
- 高卒者の県外就職率の割合
- 結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合

主成分1:未婚化・晩婚化の軸？

主成分1 得点



主成分2：未婚・国際結婚女性の軸？

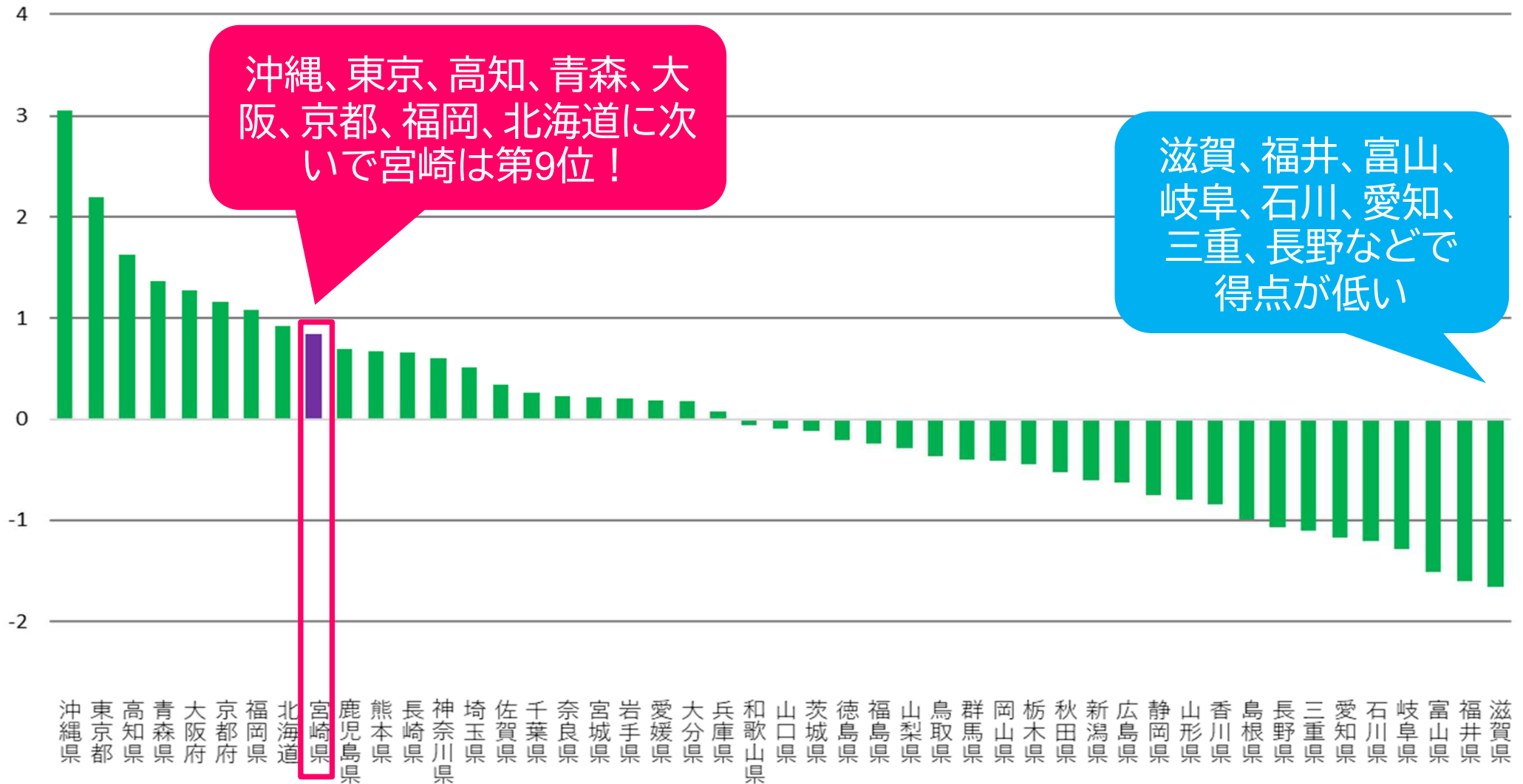
	主成分2
子ども女性比(20-44歳女性)2020	-0.040
平均初婚年齢(男)2020	0.163
平均初婚年齢(女)2020	0.499
50歳時未婚割合(男)2020	0.511
50歳時未婚割合(女)2020	0.876
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	-0.250
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	0.601
夫の氏にした婚姻割合2021	0.170
高卒者の進学率(男)2021	-0.052
高卒者の進学率(女)2021	0.031
高卒者の県外就職率の割合2021	0.499
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	-0.020
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	0.355
非嫡出子の割合2019	0.689

■この軸と正の関係にあるのは…

- 50歳時未婚割合が高い(特に女性)
- 「夫外国人・妻日本人」の割合が高い
- 非嫡出子の割合が高い
- 女性の平均初婚年齢が高い
- 高卒者の県外就職率の割合が高い

主成分2：未婚・国際結婚女性の軸？

主成分 2 得点



主成分3：男系の伝統的家族観の軸？

	主成分3
子ども女性比(20-44歳女性)2020	0.191
平均初婚年齢(男)2020	-0.261
平均初婚年齢(女)2020	-0.070
50歳時未婚割合(男)2020	-0.592
50歳時未婚割合(女)2020	0.076
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	0.118
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	0.104
夫の氏にした婚姻割合2021	0.820
高卒者の進学率(男)2021	0.303
高卒者の進学率(女)2021	0.356
高卒者の県外就職率の割合2021	-0.022
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	-0.763
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	-0.119
非嫡出子の割合2019	0.277

■この軸と正の関係にあるのは…

→夫の氏にした婚姻割合

→高卒者の進学率(男女とも)(弱い相関)

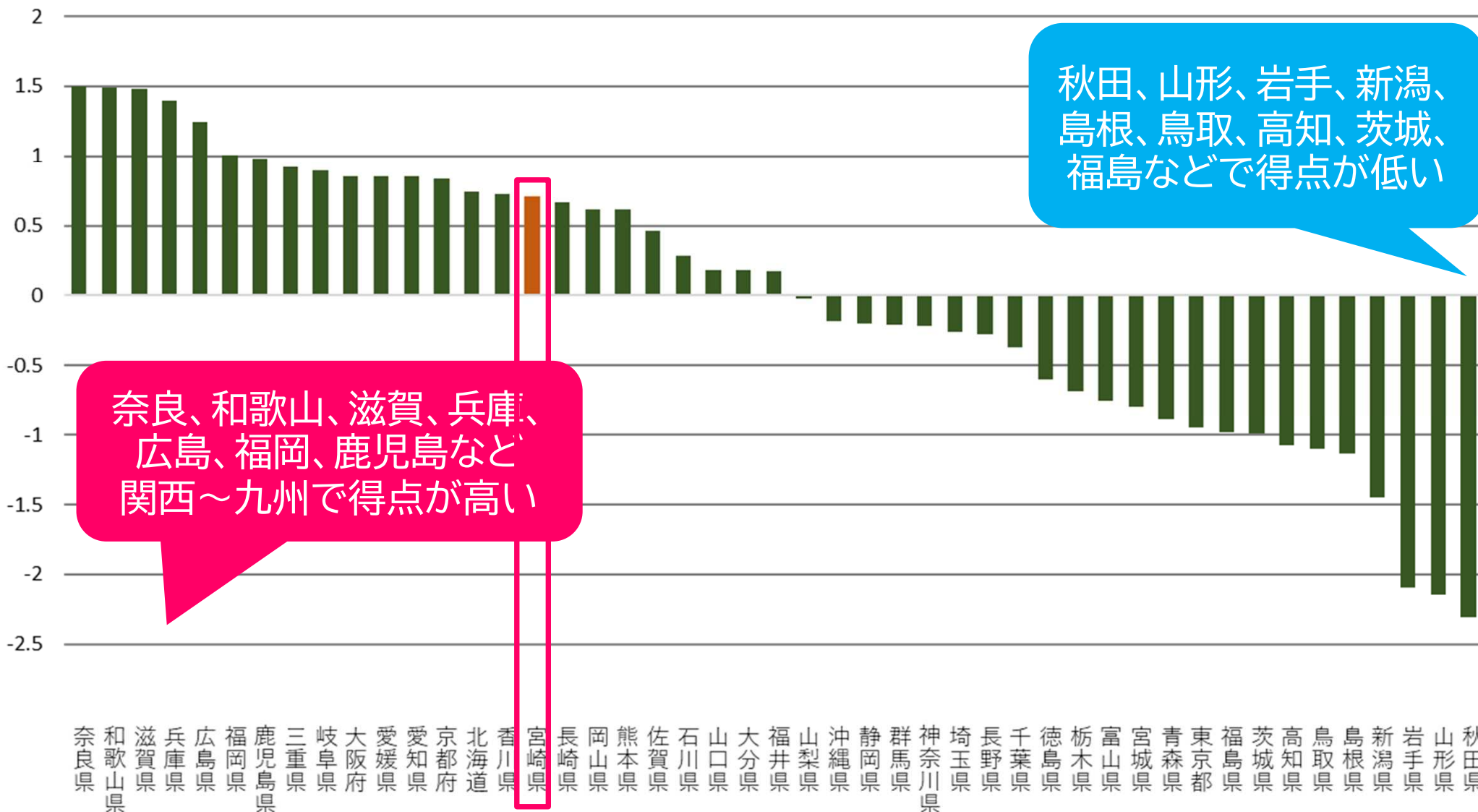
■この軸と負の関係にあるのは…

→50歳時未婚割合(男性)

→6歳未満の子のいる妻の「正規職員」の割合

主成分3：男系の伝統的家族観の軸？

主成分3得点



主成分4：国際結婚の軸？

	主成分4
子ども女性比(20-44歳女性)2020	0.285
平均初婚年齢(男)2020	-0.065
平均初婚年齢(女)2020	-0.241
50歳時未婚割合(男)2020	0.201
50歳時未婚割合(女)2020	-0.284
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	0.503
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	0.613
夫の氏にした婚姻割合2021	-0.327
高卒者の進学率(男)2021	-0.018
高卒者の進学率(女)2021	-0.166
高卒者の県外就職率の割合2021	-0.227
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	-0.292
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	0.197
非嫡出子の割合2019	0.207

■この軸と正の関係にあるのは…

→「夫日本人・妻外国人」の婚姻割合

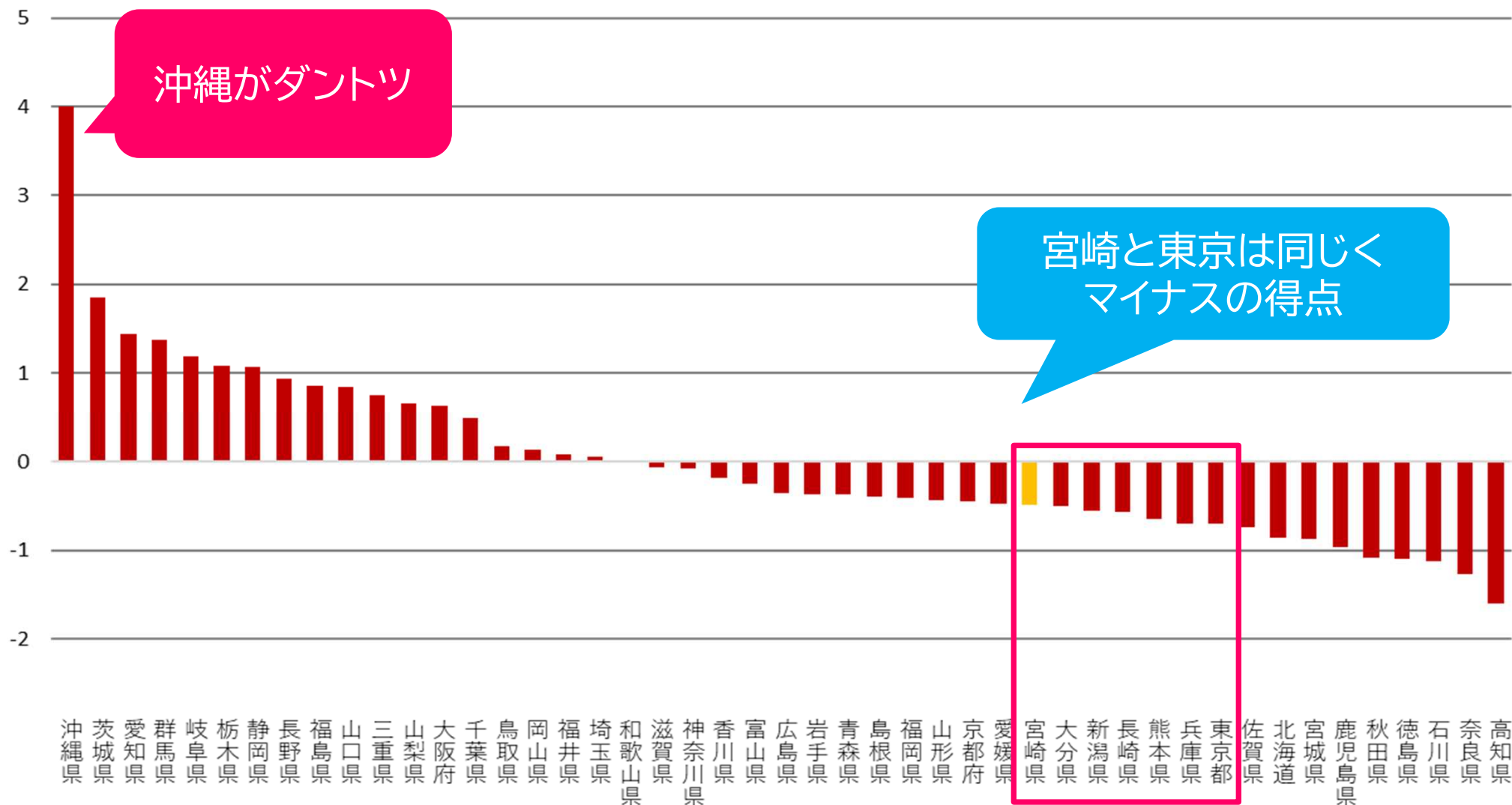
→「夫外国人・妻日本人」の婚姻割合

■この軸と負の関係にあるのは…

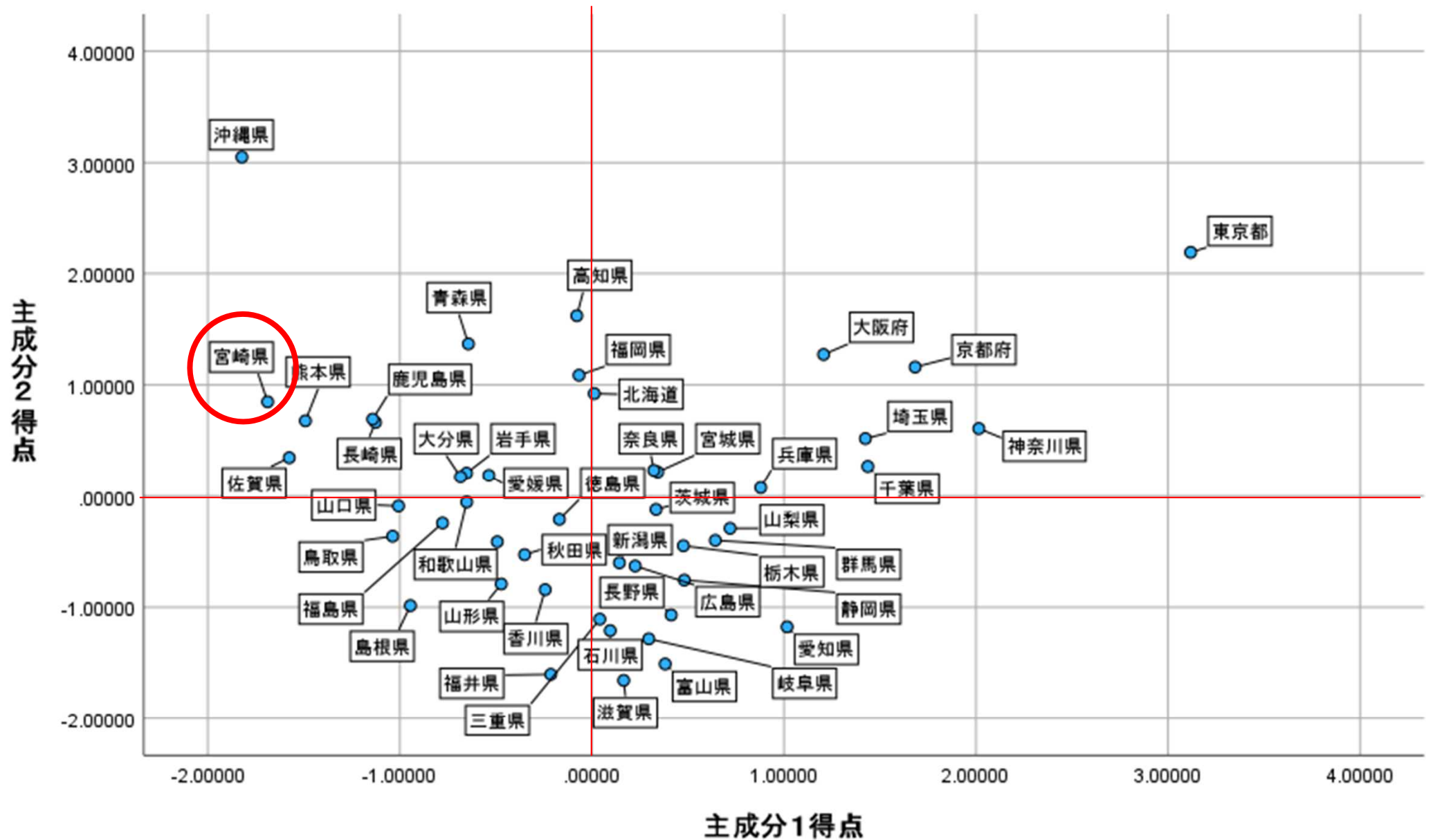
→夫の氏にした婚姻割合(弱い相関)

主成分4:国際結婚の軸?

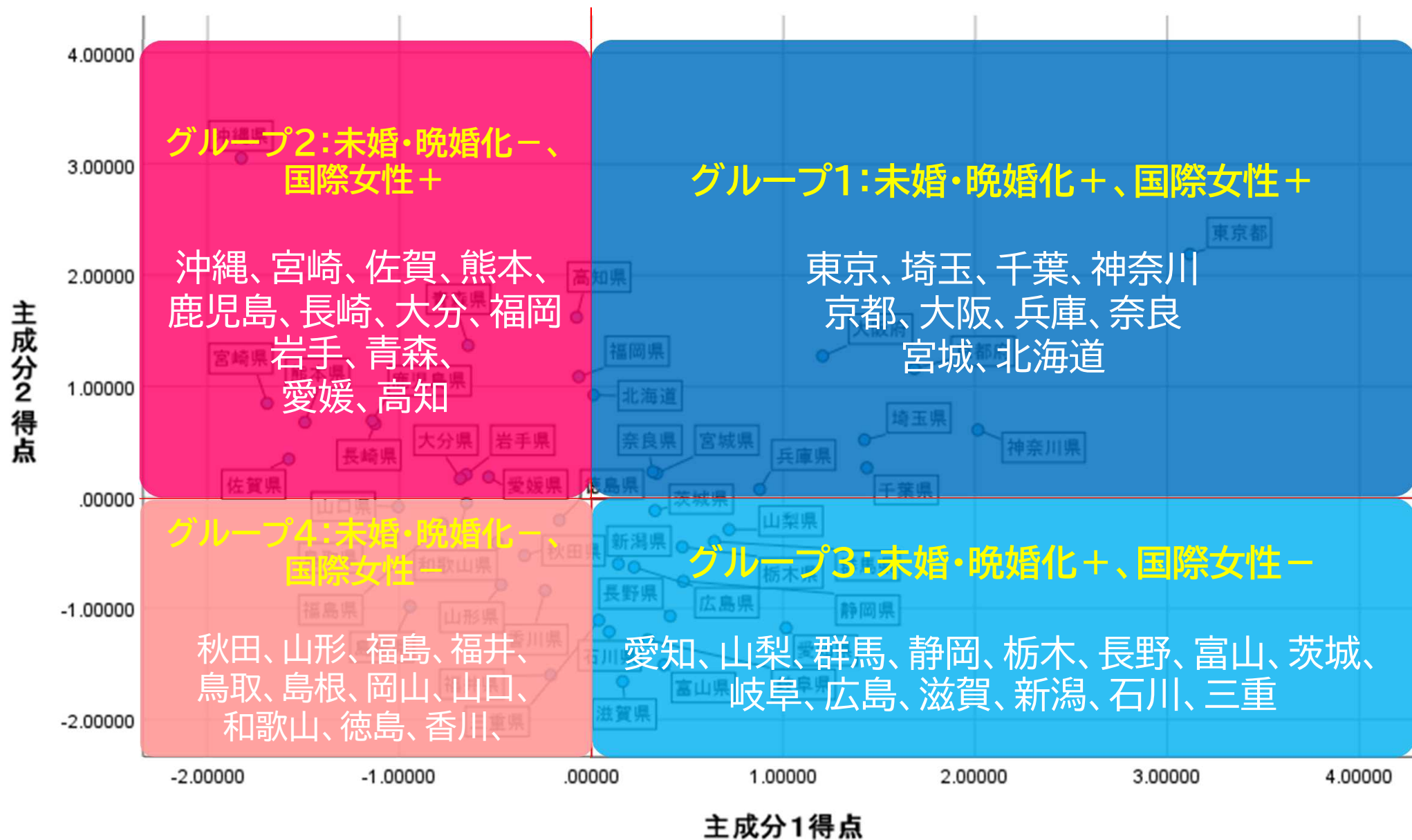
主成分4 得点



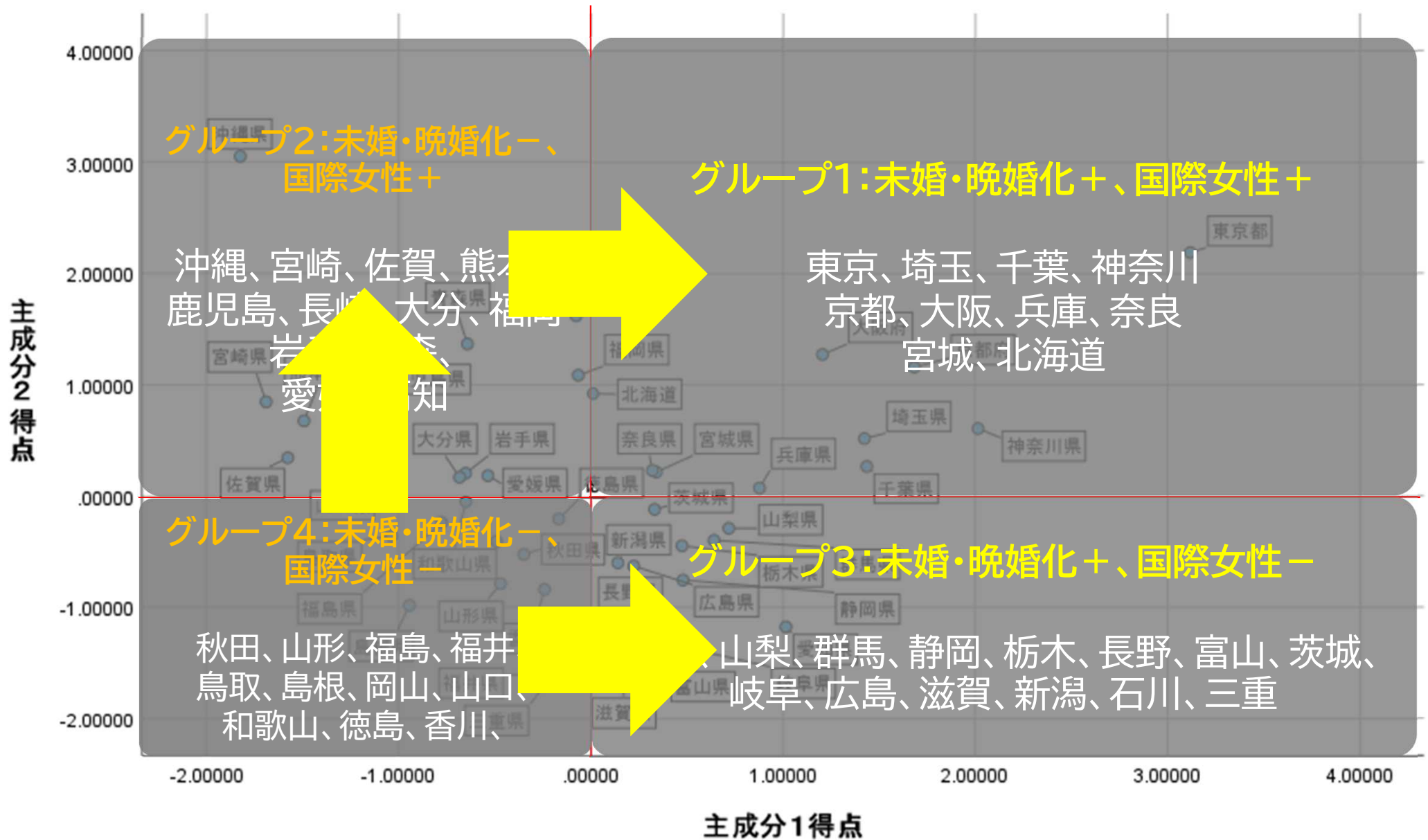
主成分1×主成分2



主成分1×主成分2



実態としては…



(再掲)子ども女性比との相関係数

平均初婚年齢(男)2020	-0.685**
平均初婚年齢(女)2020	-0.573**
50歳時未婚割合(男)2020	-0.496**
50歳時未婚割合(女)2020	-0.248
夫日本人妻外国人の婚姻割合2020	-0.359*
夫外国人妻日本人の婚姻割合2020	-0.018
夫の氏にした婚姻割合2021	0.251
高卒者の進学率(男)2021	-0.645**
高卒者の進学率(女)2021	-0.540**
高卒者の県外就職率の割合2021	0.367*
6歳未満の子のいる夫婦のうち、妻が「正規職員」の割合2020	0.107
結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合2019	0.653**
非嫡出子の割合2019	0.366*

** 1%水準で有意(両側)

* 5%水準で有意(両側)

→平均初婚年齢が高く、未婚率が高く、外国人妻の夫婦が多く、進学率が高いエリアでは、子ども女性比が低い

→県外就職率が高く、いわゆる「授かり婚」が多いエリアでは、子ども女性比が高い

(なお、「結婚期間が妊娠期間より短い第1子出生の割合」と「非嫡出子の割合」の相関係数は0.653**)

考 察

- 現時点で子ども女性比が高い都道府県は、沖縄は例外として「若いうちに結婚して子どもを持ちたくない」人が大都市圏へ流出した結果、残った人たちは子どもを持つことに肯定的な人が多く、結果として出生率が高く、子ども女性比も高い。
- 今後、東京など大都市圏での価値観が全国に拡大していくと残った人たちであっても、結婚や出産に否定的な考えを持つ人も増えていく可能性が高い。
- 出生率／子ども女性比の上昇を目指すには、「これまでに流出していった人たちが流出しなくて済むような状況」をつくることが重要ではないか？
 - 「魅力的な仕事」「住宅支援」(第1回鎌田先生のご指摘)
+「魅力的な子育て環境(学校環境)」

さらに一歩進んで考えると…

- 現在の宮崎県の出生率／子ども女性比の高さは、「結婚・家族観の大きな変化の波」がまだ来ていないことによるのではないか
- 「昔の価値観に戻す」という選択肢はないので、今後ますます多様化する価値観・ライフスタイルをサポートする政策を進めていくべき
- 「結婚」「恋愛」「出産」の結びつきが弱まっているならば、「結婚しなくても安心して出産し育てられる仕組み」「養子縁組や里親など、自分で産んだ子どもでなくとも育てられる仕組み」を充実させていくことも必要ではないか